

～幸せ溢れる2年生になるために～

テストを通して 何を得た？

テストお疲れ様でした。テスト後の振り返りでは、しっかり振り返ることができたでしょうか。さて、みなさんは今回のテストを通して、何を得ましたか。

自由に書いてみよう

を得られました

私が皆さんの様子を見ていて感じたのは、

- ①提出物に取り組む姿勢が変わった。
- ②提出物を提出日の何日も前に終わらせる人が増えた。
- ③ワーク等の課題を何回も解く人が増えた。
- ④友達同士で教え合う姿が増えた。
- ⑤友達が先生に質問しているときに、一緒に聞こうとする人が増えた。

どうでしょうか。きっと先生たちが気づかないところでもたくさん努力をしていたことでしょう。点数では測りきれない得たものがきっとあったはずです。自分の頑張りに気づき、認めることで自分の自信につながります。その自信が将来の自分のお守りにもなるでしょう。

目標
宣言



計画
立て



「自己実現」のための
成長サイクル



振り返り
課題解決



実行

成績 UP
検定合格
実力 UP

などなど

ずっと幸せなら本なんて読まなかった

これは、私が次に読みたいと思っている本のタイトルです。読書の秋、読書楽しんでいますか。

皆さんは、読書が好きですか。私は好きです。年に 30 冊ぐらいは読みます。ですが、中学生の時は、苦手でした。中学 3 年生の時の担任の先生が国語の先生だったので、こんな相談をしました。

私、本を読むのが苦手なんです。どうしたらいいですか。



あなたがへえーと思える本を読めば良いのよ。本が読めないのは、あなたのせいじゃないよ

中学 3 年生だった私は、読書が苦手だったことに、どこか劣等感を感じていました。でも、担任の先生の言葉で救われました。担任の先生は、加えて「だまされたと思って、大きな本屋さんにいってごらん。きっとあなたのための本があるよ」と言ってくれたので、だまされたと思って、大きな本屋さんに行きました。

当時、私は人間関係に悩んでいました。クラスでの自分の居場所に悩んでいました。本屋さんをウロウロしていると、人間関係に関する本がたくさんありました。何冊か気になったものを手に取り、目次をペラペラ、そして気になった項目を立ち読みしました。そこで出会った言葉、『苦手な人を無理に追いかける必要はない。あなたのことを大切に思ってくれる人を大切に』という言葉は私を救いました。私はその言葉で、人間関係に悩むことが一気に減りました。その本を購入し、一気に読みました。担任の先生の言葉は本当でした。

私は、悩み事があると本屋さんや図書館に行きます。物語は、主人公になりきってその世界を感じることができます。魔法使いになって空を飛べたり、恋をしたりできます。説明文は自分の悩み事に直接薬のように作用してくれたりします。本を読むと悩み事が減ります。

あなたのための本に出会えますように。ぜひ、読書を楽しんでください。

保護者のみなさまへ

先日は、お忙しい中、授業参観・学年懇談会にご参加いただきありがとうございました。時間に限りがあったため、質問をお受けすることができませんでした。お子さんを通じてでも構いませんので、ご質問等がありましたら、お知らせください。懇談の中でお話いただいた、スマホの付き合い方など、私どもも大変勉強になりました。2 学期も残り少なくなってきましたが、スムーズに 3 学期に進めるように、サポートしてまいります。どうぞ今後ともよろしくお願い申し上げます。